

秩父病院での研修を終えて

埼玉医科大学総合医療センター

初期研修医 2年 Y.S.

秩父病院では一般外来や消化器疾患の勉強をしたいと思い、地域研修先として選択させていただきました。1か月研修させていただいて、救急車の対応や外来が特に勉強になりました。救急車の対応では、搬送時に情報を聞きながら、血液検査や画像検査のオーダーを行い、診断や今後の方針を患者さんに説明するところまで、かなり自由にやらせていただきました。救急車、外来ともに、方針がはっきりしている方はいいのですが、症状の原因がはっきりしない方や明らかな異常が見つからない方に対する説明はとても難しく感じました。

発熱外来も今回初めてでしたが、症状や既往等を聞くところから処方までほとんど一人で行うので、情報の聞き逃しがないようにやや緊張しながらやっていました。また、発熱以外の症状がある方も多く、それらから緊急性のある他疾患の可能性はないか、院内での診察が必要かどうか、伺った情報や簡単に取れる身体所見から判断するには今まで勉強してきたこともやや役立ち、新しく教えていただいたことも合わせて大変勉強になりました。

内視鏡も学生時代は見学のみであまり興味を持っていなかったのですが、今月は実際にカメラを触らせていただき、カメラで病気を探し、診断し、治療もできるのはおもしろそうと思いました。特に外来を胃部不快感で受診された患者さんを診察し、内視鏡を予約したときには、胃の中はどうなっているだろうかと大変気になりました。結局、病変は何もなく、ピロリ菌も陰性でしたが、受診から治療までの一連の流れを経験でき、これを実際に自分でもやってみたいという気持ちになりました。

内視鏡を見学していて、〇〇先生にやってもらいたいという指名や、先生と患者さんが顔見知りの場面に多く遭遇しました。そのような信頼の中では、何か不調の際に相談しやすく、治療を決める際にも納得して決断することができそうで、そういったところを普通の勤務先では見たことがなかったので、秩父病院にかかっている患者さんたちがうらやましくなりました。

私も自分が育った街の病院で働いていて、知っている人が受診したり入院したりしているところを時々病院内で見かけます。まだまだ一人で自信を持ってできることは少なく、できる限り自分が病院で働いていることに気づかれないようにしたいと思ってしまうのですが、今後勉強し、一人でも多く挿管して麻酔をかけて、どんな疾患を持つ人にも安全に麻酔をかけられるようになればと思います。今月、内視鏡にも興味を持ったので、麻酔科でファイバーを使った挿管や急変対応、全身管理を勉強しながら、今後のことはじっくり考えていきたいです。

最後に、先生方や職員の方々には何も分からなかった初日から声をかけていただき、検査に誘ってくださったり、困っているときに助けてくださったり、大変有り難かったです。1か月御指導いただきありがとうございました。